

# 安藤たえ子とみんなの会 ニュース NO.21

編集・発行

安藤たえ子とみんなの会 事務局

綾西3-11-1 Tel&Fax 78-5915

E-mail: taetyan@taeko-ando.com

URL <http://www.taeko-ando.com>



10月1日『高座の杜植樹祭』で木を植えました。  
鎮守の森を日本全国につくろうというテーマを  
もった宮脇昭教授（横浜国大）のご指導によりし  
らかし、やぶつばきなど8000本が市民の手で植樹  
されました。3年くらいで大きくなるそうです。

自転車のまちドイツミュンスター市を調査してきました。ドイツの北にあるこのまちでは外気温5度の寒さに加え霰の降る荒天でしたが若い人も高齢者もみな自転車で元気よく走っていました。駐輪場も駅前の一等地にあり中世の城壁の跡地を自転車道にして美しく走りやすい道が整備されています。

休日には家族で森や農場をツアーをすることがこのまちのひとたちには自然なことです。綾瀬市でもサイクリングロードを市内全体に広げることはいくつかできないでしょうか？みなさんはどうお思いでしょうか。

暮らしやすいまちづくりにむけてさらにがんばっていきます。

## たえ子と語り合いましょう『ザ・いどばた会議』を開催します

11月30日（木）午後7時から	寺尾いずみ会館	研修室
12月4日（月）午後7時から	南部ふれあい会館	2F展示室
12月9日（土）午後7時から	綾西自治会館	ホール

日ごろみなさんが感じていらっしゃる疑問やご意見をざっくばらんにお伺いします。どなたでも気軽においでください。また、ドイツのまちづくりと環境、福祉など視察してきました。最新の情報を映像も交えてお知らせします。

みなさんから電話やメールでこんなご質問を受けています。

- ①綾瀬インターチェンジができるってほんとうですか？どこに？いつ？住んでいる所に影響は？（50代女性ほか）
- ②市役所のまへの道路はいつまで工事しているのですか？（50代男性）
- ③市内のみどりが減っていると思うのですが。（40代男性ほか）
- ④保育園に申し込んでも入れません。子育て支援をもっとしてほしい（20代女性）
- ⑤綾瀬市に住んでいるといっても知らない人が多い、もっと知名度をあげてほしい（20代女性ほか）
- ⑥これほど飛行機がやかましいとは思わなかった、何とかならないか（30代男性）

# 一般質問は“ちからもち”?! まちの姿勢を変える力があります

本会議（年に4回開催）の折に議員から市長、教育長に対して政策を糺したり提案をおこなったりするものです。ここでの市側の答弁は大変重いもので、議員もしっかりと勉強して真剣勝負でこれにあたっています。

わたしは1度もかかさずに（監査就任時の1年間を除く）質問してきました。

## 傍聴したひとたちの感想

- ・ はじめて議会というところに行き、緊張しましたが話し合われていることは身近なことがらが多いので面白く聞きました。
- ・ 毎回傍聴しています。議員さんも勉強しないと質問できないなと感じています。
- ・ あんどうさんの質問は聞いていることがわかりやすく、市長はどう、こたえるのかな？ととても興味がわきます。
- ・ 議会や議員は遠い存在だと思っていましたが、わたしたちの考えや意見を代表して言ってもらえる所なんだということに気づきました。

## 安藤たえ子さんはこんな発言をしてきました

**問い** 『市長公用車を見直す考えは？』

市長公用車の廃止は行政改革の考えから全国で廃止の動きがある、埼玉県志木市ではふつうの公用車を職員や職員のしごとを肩代わりしている行政パートナーが運転し経費の節減を図っている。当市でも市長の率先行動として、見直しをしないか？

**答え** 日々の公務を効率的に行うためにひきつづき使用していく。

維持費は年間920万円（購入費は含まない）かかっている。

というお答えでしたがその後環境対応車への変更がされました。

**問い** 『インターチェンジは今後どのように説明し意見の集約を図るのか』

まちづくりの大きなテーマであるインターの建設について市民への説明や意見をどのように集約するのか、考える場を設けることやそのプロセスが大事と思うがどうか？

**答え** 市のホームページで情報公開することや地域説明会をおこなうなどしていく、いままでの経過費用対効果や環境への配慮など説明していくことが当然と考えている。

このあとわかりやすいパネルを作成し、市内各地でのべ6回、34日間におよぶオープンハウス（展示説明会）が開催され地域での意見収集がおこなわれました。が、このインターは『地域活性化インターチェンジ』という名称のように、何を持って地域を活性化できるのかという議論も必要です。県の対応や今後の推移を見守りながら真に市民のためになる建設にしたいものです。

**問い** 個性かがやく『歩いて楽しいまちづくり』をかんがえては。

市の南西部にひろがる農地や公園、サイクリングロードなどをもっと魅力のある場所にするように市長自身、職員が実際に歩いて、ホテルの生息地や川べりの風景、富士山に見える場所、地場産の野菜の販売、といった全体的な構想をマップなどを作ってアピールできるようにしてはどうか。

**答え** 自然環境を生かした個性あるまちづくりをすすめたい。

地域の状況を知るためにまず、自ら行動することと地域活動への参加を職員に指導している。マップも既存のものを再編集し情報提供していきたい。

**問い** 『60代は青春まっただ中』の意識づくりで団塊の世代に地域を担ってもらうための受け皿づくりを。

いよいよ2007年問題と言われる団塊世代のリタイアがはじまる。キャリアを生かしてまちづくりに参加してもらうための受け皿作りが必要ではないか。コミュニティビジネスや起業支援、荒廃地を利用した農業など庁内各課が連携して議論する場が必要では。

**答え** 団塊世代の豊富な経験や知識を地域に生かしてもらうことは大変有益なことで、考えている。個々人の能力を十分に発揮できる環境整備と各施策の横断的とりくみが重要だ。その能力の引き出し方を課題として検討していく。

平成17年9月議会から18年9月議会までの1年間に12項目の質問をおこないました。詳細は綾瀬市ホームページや本会議の議事録をご参照ください。

---

## 税金のつかいみちを考える

休日、祝日、年末年始における、歯科救急医療体制の確保ということで保健医療センター内に設置されている『休日歯科診療』に税金が1,143万円投入（平成16年度決算）されている。これは市民ひとりあたり経費としては64,200円かかっていることになります。

**安藤たえこの主張は、**このセンターがつくられた当時とちがい今では日曜日も診療する医院もふえています。（市内に9軒）

また、実際に受診する人は1日に1人か2人、ゼロという日もありました。歯の治療は応急では結局間に合わず改めて医者に通わなければならないし、小児や外科の救急と異なり生命の危険があるということでもない。莫大な税金を投入する意味がわからなくなっている。時代のニーズをみきわめてこれを見直すべきだと思います。

**外部評価委員会**（綾瀬市の行政の質を向上していくために何が必要な事業なのかを審査する委員会、専門家、市民の5名で構成）**では、**継続、改善、廃止の3項目で10項目の事業について審査しました。

その結果、休日歯科診療については費用対効果が低いため『廃止』の方向がうちだされました。来年度予算ではどうなるでしょうか？

**この費用を予防医療やねたきりのひとの口腔ケアにつかってほしいです。みなさんはどうお考えですか？**



川のごみは毎回すごい量です。目久尻川をふるさとの川にしたい、というねがいで川の清掃活動をつづけています。

源流から河口までのまちがいつせいに清掃活動ができるようになりました。かわせみの止まり木も設置されました。

柏市と姉妹都市になった記念にサッカーの交流会をおこないました。

柏市のお祭りにも参加し、少年、シニア、社会人のチームが対戦し、姉妹都市のご縁を喜び合いました。

サッカー協会の会長として市会議員としてさまざまな接点で交流できればとねがっています。



## ご存知ですか？あかしの目久尻川の風景



用田橋付近、昭和30年ころの写真です。  
(藤沢市所蔵)

藤沢市御所見と海老名市本郷のあいだで、神社の祭礼におみこしが渡御し合っていたそうですが、ある年川に入った若者たちが原因不明の熱や発疹が起こり、その文化が途絶えてしまったということです。

むかし、こどもたちは川で泳ぎ、うなぎをとったりして遊んだり、夕飯のおかずのたしにしていたりしたそうです。

そういう風景をもう1度とりもどしたい、ところからねがいます。

環境問題を解決するのはそういう素朴なねがいや、使い捨てはもったいないとかんじるころではないでしょうか？

# いろいろな活動に参加しています。



環境学習の出前講座でこどもたちと  
いっしょに勉強しています。『ドイツ  
のペットボトルは30回くらい使うの  
よ』と実物を見ながらごみの減らし方  
や温暖化の原因などを学んでいます。

阪神大震災の折、3日間ボランティア  
で行った経験から、災害ボランティア  
が必要だと感じて、ボランティアコ  
ーディネーター初級の資格をとしまし  
た。



## スピーチ会場の準備風景

国際スピーチフェスティバルの開催  
や、市内に住む外国人のひとたちへの  
情報提供（綾瀬市発行）のお手伝いを  
しています。

近所に外国人のひとがいたら、こ  
ういう情報があることを教えてあげてく  
ださい。

**市民活動がまちを元気にします。はわたしのモットー  
自分自身が汗をかいて行動します。**

**市民活動に『きらめき補助金』がおくられました。**

まちをもっと住みよいところにしたい、市役所にまかせていないで自分たちのちからで活動していこう、という団体に補助金がおくられました。

最大20万円を獲得した団体が3団体、ほかに7団体がきびしい審査を経て決定しました。

長い間市民活動支援の必要性や方法について提言をつづけてきたことや自身で活動に参画してきた甲斐があったと、こころからよろこびがこみあげました。

そしてなによりもうれしいと思えたのは、活動をしていこうというひとたちや団体がこんなにも多くおられたということです。これからも自分自身が汗をかいて活動を推進していきたいというこころを新たにしました。こころゆたかなまちづくりにがんばります。



**おまちしてます。あなたのご意見。  
『まごころホットライン』**

**Tel&Fax. 7 8 - 5 9 1 5**

**E-mail : taetyan@taeko-ando.com**

**URL : <http://www.taeko-ando.com>**

みなさまからお聞きするご意見はとても貴重です。

困っていることのご相談や市への提言、苦情など電話、メール、FAX、でお寄せください。必ずご返事いたします。

この1年間で、142件のご相談に応じました。ご意見を書き留めたノートは7冊目になりました。